

レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、
必要なときに読めるように保管してください。

2017年06月(初版)

承認番号22900BZX00118000

機械器具 72 視力補正用レンズ

高度管理医療機器

単回使用視力補正用色付コンタクトレンズ 37583000
(単回使用非視力補正用色付コンタクトレンズ 47836000)

ピアコンタクトアクア

(一日交換終日装用色付ソフトコンタクトレンズ)

再使用禁止

【警告】

1.コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。

2.上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。

(1)装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。

(2)使用期間を守ること

このレンズは1日で新しいレンズと交換する使い捨てレンズです。

(3)取扱い方法を守り正しく使用すること

レンズの取り扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズは清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。

(4)定期検査を受けること

自覚症状なく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

(5)異常を感じたら直ちに眼科を受診すること

レンズ装用前に眼ヤニや充血がないか、また、装用後も異物感がないか確認し、異常を感じたら眼科を受診してください。

(6)破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

1.適用対象(患者): 次の人は使用しないこと

●前眼部の急性及び亜急性炎症●眼感染症●ぶどう膜炎●角膜知覚低下●レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患●眼瞼異常●レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患●常時、乾燥した生活環境にいる人●粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人●眼科医の指示に従うことができない人●レンズを適切に使用できない人●定期検査を受けられない人●レンズ装用に必要な衛生管理が行えない人

2.使用方法

自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと
再使用禁止

レンズは一度眼から外したら再使用せず、破棄してください

3.併用医療機器

MRI検査を受ける際にはレンズをはずすこと

【形状・構造及び原理等】

1.レンズの組成

(1)ソフトコンタクトレンズ分類: グループIV

(2)構成モノマー: 2-HEMA、MAA、EGDMA

(3)含水率: 55%

(4)酸素透過係数: $20 \times 10^{-11} (\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/(\text{mL} \times \text{mmHg}))$

(5)着色剤: アゾ系着色剤、金属酸化物系着色剤、
アントラキノン系着色剤、フタロシアニン系着色剤

(6)紫外線吸収剤: ベンゾフェノン系紫外線吸収剤

(7)紫外線吸収率 UV-A波: 吸収率 75%以上

UV-B波: 吸収率 99%以上

2.保存液

保存液の主成分: 塩化ナトリウム、緩衝剤(ホウ酸、ホウ砂)

3.原理

眼粘膜上に置いた異なる色相の物質に光線を通過させることによって起こる光の屈折を利用して、平行光線が網膜上に結像するように矯正し、外観上虹彩又は瞳孔が変化する医療機器。

【使用目的又は効果】

視力補正用: 視力補正及び装用時に虹彩または瞳孔の外観(色、模様、形)を変えることを目的とする

非視力補正用: 装用時に虹彩または瞳孔の外観(色、模様、形)を変えることを目的とする

【使用方法等】

終日装用、一日交換

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1.レンズ着脱

(1)レンズ取扱いの注意事項

- ・爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- ・レンズを取り扱う前に必ず手を洗ってください。
- ・レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。

(2)レンズの取り出し方

- ・開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
- ・レンズをキズつけないように、爪を立てず指の腹でそっと容器から取り出します。
- ・装用前にレンズの左右、裏表を確認してください。

(3)レンズのはめ方

- 1)人さし指の先にレンズをのせます。
- 2)鏡を見ながら、もう一方の手の親指と人さし指で眼を大きくあけます。
- 3)レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒眼の上にそっとのせます。
- 4)レンズを黒眼にのせたら、眼をあけていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりしてください。
- 5)左右の見え方で、入れ違いがないかを確認してください。

(4)レンズのはずし方

- 1)中指で下まぶたを引き上げます。
- 2)そのままの状態で見ながら親指と人さし指でレンズの下方をつまみはずします。

2.装用スケジュール

(1)このレンズは一日で交換する終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、寝る前にははずして捨ててください。

(2)レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。

【標準的な装用スケジュール】

装用日数	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目以降
装用時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	8時間

(3)装用を中断した場合

- ・1週間未満の場合は普段通りの装用が可能です。
- ・1週間以上中断した場合は、はじめて装用する場合と同じように上記の表を参考に開始してください。
- ・1ヵ月以上中断した場合は、眼科を受診してから装用を開始してください。

3.定期検査

レンズ装用開始日から1週間後、1ヵ月後、3ヵ月後、以降3ヵ月毎に、又は眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

【使用上の注意】

1.重要な基本的注意

- (1)レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なときに読めるように保管してください。
- (2)アレルギー疾患(金属アレルギー等素材に対するアレルギーを含む)を有する場合は、有害事象が発生する危険性が高まりますので眼科医に相談してください。

2.不具合・有害事象

以下の不具合や有害事象が発生する可能性があります。

- (1)不具合
 - レンズ:破れ、キズ、変形、変色
 - 保存液及び容器:液漏れ、液の変色・変質、破損、汚れ
- (2)有害事象
 - 角膜潰瘍、角膜膿瘍、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎、角膜上皮ステイニング等の角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、眼瞼下垂、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜内皮細胞の減少

＜装用時の症状と対処方法＞

- ・眼の調子や体調が悪い場合は、無理に使用しないでください。
- ・レンズの使用で、次のような症状が発生した場合は対処方法をお試しください。症状が続く場合には速やかに眼科を受診してください。

症状	対処方法
異物感、痛み、かゆみ、くもり、眼ヤニが多く出る、充血	・レンズを確認し、キズや破損がある場合は、新しいレンズに交換する。 ・装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
視力不安定、見えにくい、眼の疲れ	・レンズの左右、裏表を確認し、レンズを正しく入れ直す。 ・装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
乾燥感	・数回まばたきをして涙を多く出す。 ・ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。

3.妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

- (1)薬剤の服用や点眼が必要な方、妊婦、出産された方は、レンズの装用に影響を及ぼすことがありますので、眼科医に相談してください。
- (2)小児にレンズを使用させる場合は、保護者の方等による指導監督のもとに使用してください。

4.その他の注意

- (1)レンズ紛失時及び装用中止時の対応として、予備レンズを携帯し、眼鏡と併用してください。
- (2)化粧はレンズをはめてから、化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
- (3)化粧品等がレンズにつかないようにしてください。
- (4)装用中に使用する目薬は、防腐剤を含まないソフトコンタクトレンズ用の人工涙液をおすすめします。それ以外の目薬は眼科医の指示を受けて使用してください。
- (5)水泳の際はレンズをはずしてください。
- (6)高齢者・子供や障害のある方は使用しないでください。
- (7)レンズの着色部分によって、光の量が減少し、見えにくく感じる場合があります。また、視野周辺部に違和感を覚える場合があります。これらはレンズ装用に慣れるに従い軽減されますが、長引く場合は眼科医に相談してください。
- (8)レンズの装用により、暗い場所では見えにくいことがあります。暗い場所での車の運転や機械の操作は、特に注意してください。
- (9)激しいスポーツ等では、レンズがずれて、視界を妨げることがあります。

【保管方法及び有効期間等】

- 保管方法:直射日光及び凍結を避け、室温で保管してください。
- 使用期限:レンズの使用期限は、レンズ外箱と容器本体に記載されています。使用期限を過ぎたレンズは使用しないでください。(EXP:YYYY/MM＝使用期限YYYY年MM月)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

＜製造販売業者＞ PIA株式会社
Tel:0120-523-823
＜製造業者＞ イントロジョ社
INTEROJO ,Inc. 大韓民国

【お問い合わせ先】

＜症状に関するお問い合わせ＞
コンタクトレンズ装用にとまなう目の症状については、処方を受けた眼科専門医にご相談ください。

＜製品に関するお問い合わせ＞
製品の品質には万全を期しておりますが、万ーレンズや包装容器に異常を発見した場合には使用せず、眼科医・購入先に相談してください。または、下記の弊社にお問い合わせください。

PIA株式会社 東京都品川区西五反田7-22-17 0120-523-823
受付時間: 10:00～18:00(土・日・休日を除く)

包装に記載されているマークについて

マーク	解説	マーク	解説
	添付文書をお読みください	D	頂点屈折力
	容器包装識別表示:プラスチック		高圧蒸気滅菌済
	製造番号		医家向医療機器
DIA	直径		容器包装識別表示:紙
BC	ベースカーブ		1回限り使用、再使用禁止
	再滅菌不可	EXP	使用期限
			紫外線吸収剤